

新潟市新津美術館

2018（平成 30）年度コレクション展Ⅲ

## 笹岡了一とその周辺

会期：2018 年 9 月 1 日（土）～12 月 2 日（日）

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館。11 月 5 日は開館）

中蒲原郡金津村（現・新潟市秋葉区）出身の洋画家・笹岡了一の画業と、彼に縁のあった画家たちの作品を、現在活躍中の画家たちとともにご紹介いたします。笹岡の妻・秋元松子や、新潟の大橋廣治、堀研一、中野雅友、山田一郎の作品は、昨年度新たに当館へ収蔵され、このコレクション展が初の御披露目となります。また、千葉光風会で笹岡に師事した篠崎輝夫や、河内文夫の作品をご覧ください。笹岡を中心とする画家同士の友情や師弟の交流にも思いを馳せながらお楽しみください。

作家名	生没年	作品名	制作年	材質、技法	寸法（cm）
笹岡 了一	1907～1987	纏足	1946（昭和 21）	油彩、カンヴァス	116.7×91.0
秋元 松子	1899～1995	花と更紗	1973（昭和 48）	油彩、カンヴァス	91.5×117.0
篠崎 輝夫	1929～2005	天山南路をゆく	2001（平成 13）	油彩、カンヴァス	162.2×194.0
河内 文夫	1939～2008	受胎告知	2003（平成 15）	油彩、カンヴァス	162.3×130.5
大橋 廣治	1931～2007	シエスタ （サクロ・モンテ）	1985（昭和 60）	油彩、カンヴァス	162.3×131.0
中野 雅友	1947～	イヨマンテ	2017（平成 29）	油彩、カンヴァス	194.0×162.0
堀 研一	1946～	小休止（C.C.R）	2013（平成 25）	油彩、カンヴァス	130.3×162.0
山田 一郎	1949～	果樹の詩	2012（平成 24）	油彩、カンヴァス	162.0×194.0